

カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日 平成31年2月18日

主管学校名 金沢大学附属特別支援学校

PTA会長名 高瀬 博

実施概要	主管校	金沢大学附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	我が子の、卒業後の「しごととくらし」を考える① 「先輩と語る会～卒業後の未来」
	実施日時	平成30年6月21日（金）、
	実施場所	本校
	実施目的	先輩お母さんと語り合うことで将来の就労や生活を考える。
	実施内容	生活介護事業、就労継続B型事業、一般就労している卒業生のお母さん3人と語り合う。
	実施方法	3人から現状とこれまでの子育てを聴き、懇談形式でざっくばらんに語り合う。
参加人数	32名	

報告事項	内容	生活介護事業、就労継続B型事業、一般就労している卒業生それぞれのお母さんを講師として招聘した。最初に、それぞれの現状とこれまでの子育てについて語っていただいた。その後、ざっくばらんに講師と参加者で懇談し、将来のことや現在の子育てについて話し合った。
	結果	参加者の感想にあるように、講師の話に共感し、今の自分の子育てについて考え、将来のことについて知識を得ることができた。 参加者同士の意見交換も保護者の交流が深まり良かった。 詳細は添付の報告を参照。
	所感	同じ、障害がある子どもの親として共感できる内容だった。 大変なこともあるが、将来をそんなに心配したり不安に思ったりせずに、今を前向きに生活していきたいと元気が出た企画となった。

添付書類

担当作成報告書（参加者の感想）

平成 30 年度 保護者研修会報告

暑さが日ごとに増してまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。
さて、6 月 21 日に育友会保護者研修会『先輩と語る会「卒業後の未来」』を開催し、小学部 11 名・中学部 6 名・高等部 15 名の保護者の方にご参加いただきました。
『先輩』としてお迎えした 3 名の本校卒業生保護者の方より、たくさんのためになるお話をして頂きました。内容について簡単にまとめましたのでご報告いたします。

◆九良賀野佳代子さん

平成 20 年度卒業生（男子 28 歳）保護者

A 型就労「ライフクリエートかほく」にて喫茶部のウェイターや、リサイクル会社でペットボトルの仕分けをしている。

新しい法律の制定や改正などで、障がい者を取りまく環境は変化している。

情報の選別、利用するか否かなど、保護者だけで判断するのは難しい。

子どもが思春期の時、親は思秋期を迎える。健全な精神と肉体のため制度を上手に利用して自分の時間を確保してほしい。

◆浅永洋子さん

平成 21 年度卒業生（男子 27 歳）保護者

一般就労金沢クリーンワークス→金沢大学→本校で清掃の仕事をしている。

小学部の時はパニックになって暴れることもあり、就労は無理だろうと考えていた。

しかし息子を見守って下さる方々から適性を見抜いてもらい掃除の仕事の続けてこられた。

お小遣いを自分の好きなことに使い楽しく生活ができている。

◆山崎喜代美さん

平成 22 年度卒業生（男子 26 歳）保護者

生活介護たけまた友愛の家で、空き缶つぶしや農耕などの仕事をしている。

多動がひどく独りにさせることが出来なかったが、現在は独りで留守番が出来るようになった。

散歩をしたり余暇を大切にしておだやかに生活している。

【質疑応答】

- Q. コミュニケーションを取るための言葉の役割や必要性についてお聞きします。
どのようにお子さんとコミュニケーションをとっていますか。
- A. 言葉を発することが良いことばかりではないと考えます。
言葉の背景を汲んであげることが大切だと思います。
- Q. グループホームの入所について考えていますか。
- A. 出来るだけ家族の中で過ごす時間を取りたいと思っています。
グループホームはどこもなかなか入れないのが現状です。
- Q. 就労してから暴れるようなことはありますか。
- A. あります。気持ちのコントロールが難しい様です。
デコボコ（思い、感情）は一生付き合っていくものだと思います。



～参加者の皆さんから～

- ★先輩方の体験談を実際にお聞き出来てとても参考になりました。貴重な機会をありがとうございました。
- ★今はまだ就労について想像もできませんが、子どもの将来を決めつけずに可能性を信じて見守って行きたいと思いました。親として、情報収集や人とのつながりを大事にしようと思います。今日は本当にありがとうございました。
- ★とても分かりやすい内容でとてもためになりました。卒業後のことはまだまだ先で、これから子どもがどう成長していくかが分からず不安はたくさんありますが、とにかく家族がそれぞれ自分の時間を持ち、子どもにしっかり向き合っていきたいと思いました。リアルなお給料などの情報もお話しいただきとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ★今日は息子の登校が遅れてしまい、お話しされる方も何年前にお聞きしたことがあったので休もうかなとも思ったのですが、やはりまたちがったお話がきけて参加してよかったです。卒業生のお母さんのお話はとても参考になります。
- ★学校卒業後の生活や親との生活、親亡き後の話を聞いて良かったです。
- ★今後、私たちにも必ず訪れる卒業後の行き先を決める上で、先輩のお母さん方の貴重な体験はとても参考になりました。就労先をどのようにして決めたらいいのか、子どもに何が出来るのかなど、親が積極的にかかわっていかねばならないかと思っていたのですが、子ども自身が何がしたいのか何が出来るのかを親が決めるのではなく一緒に考えて行ければと思います。色々な体験を子どもと一緒にしていくことが大事なんだと気づかされました。

- ★今日はとても勉強になりました。将来のことを知る事でまた日々の生活を見直しながら楽しんで暮らしをしようと思いました。職業の話、とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ★本人が居心地の良いところを見ていく。見守ることの大切さを教えて頂きました。言っている言葉と思いが反対の場合があるから、確かめて本人の気持ちを誘い出す。言葉がすべてでないことも教えて頂きました。適切な質問をしないと正しい答えが返ってこない。同じ思いの保護者の方々のお話を伺い、有意義な時間を過ごさせていただきました。
- ★体験に根ざしたお話で大変参考になりました。ありがとうございました。
- ★ご体験を聞かせていただいてありがとうございました。
- ★具体的な話を教えて頂き、十年後の姿を少し想像できました。今現在の成長の喜びや苦悩していることを話してくださってありがとうございました。
- ★自分の子供の将来を考える良い機会になりました。まさに三者三様でいろいろなお子さんのお話をいつも近くで見ているお母様方から聞いて参考になりました。ありがとうございました。
- ★サポートブックなど、知らないことがあり勉強になりました。また、就職など不安なことなど聞いて良かったです。
- ★サポートブックがある事を初めて知りました。卒業後、子どもが落ち着いて過ごせるか不安でしたが、その時その時で対応していることを知りました。楽しい会を聞いて良かったです。
- ★浅永さんが、子どもが周りに上手に気持ちを伝えたりすることが出来なくても、家族が子どもの気持ちを分かってあげられれば良いと思う、と言うお話をしていたのが印象深かった。子どもの将来のことを考えるとついついいろいろなことを出来るようにさせないと、しっかりさせないと、と追い立てるような態度を取ってしまうことがあるので、子どもの気持ちも汲み取りつつ、家が子どもにとって安心して過ごせる状況になっているかどうかということも気にかけるようにしてみようと思った。
- ★先輩方がざくばらんにお話してくださったので楽しい会となりました。グループホームについてどう考えているかの質問についてのお答えに共感しました。
- ★たくさんの親が直面するリアルな話を聞け、とても参考になりました。私は子どもを一番に分かってやれないといつも引け目に感じ焦っていましたが、先輩の話を聞いて、親が一番わかっているわけではなく、むしろ周りがわかっていることもあるという話より、以前から将来について親が一番わかるとやれないと、と悩んでいたこともあったので少しほっとしました。子供の将来や社会にスムーズに入るには、言葉で伝える・伝えることが大切なのか漠然と思っていましたが、先輩のアドバイスでまず親が子どもの話を聞いてやって、社会も自分の声を聞いてくれるという心を持たせて、社会に送り出してやるのが大切だと教わり、とても勉強になりました。また今回のように先輩方の力を借りて、子育てに頑張る気持ちをもらいました。ありがとうございました。
- ★お話が聞いて良かったです。三者三様のタイプの働き方が分かりやすく、又、余暇についても色々な様子が聞いて良かったです。又、最後の質問に対しても、親の心がまえのようなお言葉を頂けたと思います。今はデイサービスなどあり、恵まれています。大変な時期に立派に子育てされた先輩のお母さん、本当に尊敬します。子どもの将来のためには情報収集が必要だなと思いました。

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成31年2月11日
主管学校名	金沢大学附属特別支援学校
PTA会長名	高瀬 博

実施概要	主管校	金沢大学附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	我が子の、卒業後の「しごととくらし」を考える②
	実施日時	平成30年10月11日(水)
	実施場所	国立大学法人金沢大学、社会福祉法人富明会けやき野苑、多機能型支援施設ヒラソル
	実施目的	卒業生の就労先を見学し、将来我が子が働く姿をイメージする。
	実施内容	企業及び施設を見学する。
	実施方法	卒業生が働いている企業、就労継続A型事業所を見学し、現在の様子を聴く。
	参加人数	33名

報告事項	内容	<p>金沢大学ではジョブコーチを採用して30名を超える障害がある人を雇用している。主に、建物の清掃業務を行っている。</p> <p>ジョブコーチの説明を聴きながら働く様子を見学した。</p> <p>けやき野苑は当時、野々市町育成会が設立した通所授産所を母体とし現在は生活介護事業や就労継続B型事業、共同生活援助事業等を行っている。主な作業は箱折り、ハーブ栽培、アルミ缶プレスである。</p> <p>多機能型支援施設ヒラソルは就労継続B型事業を行い、野菜の栽培や袋詰め作業を行っている。</p> <p>隣接するレストランでは接客サービスも行って楽しく昼食をいただいた。</p>
	結果	<p>金沢大学ではジョブコーチ付きの雇用の様子がわかり、必要な支援を受けて安心して働いていることが分かった。また、ジョブコーチの話から将来に向けて大切にしたいことについて考えさせられた。</p> <p>また、けやき野苑やヒラソルでは、利用者が和気藹々と仕事を楽しんでいる様子が見られ、作業種の工夫も感じた。</p> <p>就労系サービスについて知ることができた。</p>
	所感	<p>実際に働く現場を見ることは、我が子の将来をイメージする上で大変重要である。</p> <p>今回は、見学にあわせてそれぞれの場所で話を十分に聴くことができたことも良かった。</p>

添付書類	担当作成報告書(参加者感想含む)
------	------------------

育友会各位

平成 30 年 10 月 25 日

金沢大学附属特別支援学校
育友会会長 高瀬 博
副会長 連 司津子

施設見学報告

紅葉の候、ますますご健勝のことと存じます。

10 月 11 日に施設見学が行われ、鶴尾先生の引率の元 33 名の保護者の方々にご参加いただき、「金沢大学」「けやき野苑」「ヒラソル」を見学いたしました。

【国立大学法人金沢大学（一般企業）】

金沢大学では清掃を担当する場所が広い学内に分散しているため三つのグループに分けてジョブコーチの方の案内で数か所ずつ見学させていただきました。

清掃場所は大学本部、健康管理センター、図書館、学生棟の会議室やトイレ等です。各場所には掃除の手順書があり、様々な道具を使い分けて手早く丁寧に行うそうです。なお、清掃は、部屋が空いている時にするので使用時間等に気をつけて行っているそうです。

なお、スタッフルームには大きなボードがありそれぞれの適性が考慮された担当場所が示されており、作業者は朝礼時にメモを取り担当場所に向かうそうです。

◆ジョブコーチとの質疑応答

Q：ジョブコーチをしていて伝わらなくて困ったことは？

A：こちらの考える「きれい」と本人の思う「きれい」が違うこと。

Q：卒業までに身に付けておいたほうが良いことは？

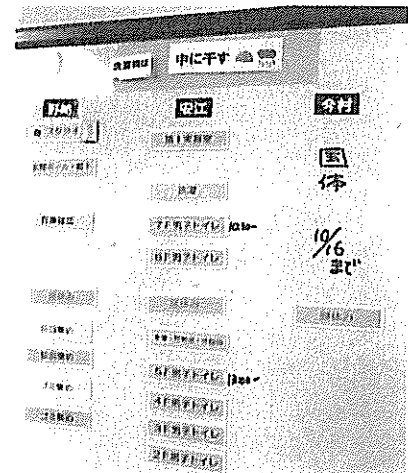
A：日常のあいさつはもちろん、ありがとう・ごめんなさいが言えることや、家庭で行うトイレットペーパーの交換など自分自身で行うことを色々経験しておくことが大事だと思う。

Q：何か問題が起こった場合はどうしていますか？

A：ただ、説明するだけではなくどうしたらいいか一緒に考えることを大切にしている。

◆終わりに

「就職したらそれで終わりではなくここからがスタートという気持ちで頑張ってもらいたい」というジョブコーチの言葉がとても印象的でした。また、普段入ることがない大学の様々な場所を見学でき、貴重なお話をたくさんお聞きすることができてとても有意義な時間でした。



【社会福祉法人富明会けやき野苑（就継 B 型）】

まず支援員の方から施設の概要について説明いただきました。

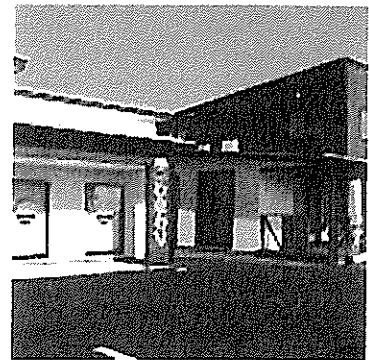
施設には、10代から60代までの利用者があり主な仕事は箱折、アルミ缶プレスやハーブの栽培・加工等です。近年は、利用者の工賃アップを目指して施設外就労にも力を入れているとのことでした。約2年前にはグループホームも開設したそうです。

箱折作業では、立ったままの方もおられ、足腰を鍛える目的であるとの説明でした。折った箱が乱れることもなくまっすぐに積み上げられていく様子にとっても感心しました。皆さん落ち着いていて穏やかな表情で作業をされておられました。また、施設の中は整理整頓されていて清潔感がある空間でした。

【多機能型支援施設ヒラソル（就継 B 型・生活介護）】

隣接する就労支援の場所を兼ねた「キッチンひまわり」で昼食をいただきました。ボリュームたっぷりでもとても美味しかったと皆さんに好評で会話も弾み楽しいひと時を過ごすことができました。

ヒラソルでは就継 B 型として野菜の栽培や袋詰め等の仕事をしているそうです。施設長さんのお話では、野菜は近くの店舗や給食センターに卸しており、質の高い商品の提供を目指すため元 JA 職員のスタッフも揃えているそうです。



施設の一階は、主に生活介護を利用されている方のスペースで肢体不自由の方にも配慮されたつくりになっており、肢体不自由の方が数名明るい表情で体操されている様子や、本校卒業生の方がビーズ製作を楽しんでいる様子も見ることができました。二階は児童デイサービスに利用されていました。

とても新しく機能的な施設で職員の方々も明るく魅力のある施設でした。

あいにくの雨で肌寒い中たくさんの保護者の方々にご参加いただきありがとうございます。

◆ アンケートより ◆

- ・金沢大学の清掃作業は細かくすること決まっていてそれを理解し、たくさんの情報を処理しながら働くことはとても難しいことだと思った。
- ・お金をもらうということはどんな仕事も大変だなと思った。
- ・働きたいという気持ちや挨拶が大切なんだと思った。家庭でできることを考える機会をもらった。
- ・けやき野苑では皆さんがとても落ち着いて作業されているのが印象的だった。
- ・施設外就労という言葉を知ることができてよかった。
- ・就労支援の形態を比較できてよかった。
- ・キッチンひまわりのランチがおいしくてよかった。

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成31年2月118日
主管学校名	金沢大学附属特別支援学校
PTA会長名	高瀬 博

実施概要	主管校	金沢大学附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	我が子の、卒業後の「しごとと暮らし」を考える③
	実施日時	平成30年12月22日(土)
	実施場所	松ヶ枝福祉館
	実施目的	障害者雇用に取り組んだ企業の代表の講演から、父親としての子育てについて考える。
	実施内容	働く、生きる上で大切なこと、親として為すべきことについて聴く。
	実施方法	講義と意見交換
	参加人数	14名

報告事項	内容	<p>創業した企業で、これまで取り組んだ障害者雇用と個々の就労の課題を話していただいた。課題を解決するためには家族の支援が大切であること、また良い社会人、企業人となるためには日頃の家族のあり方が重要であることを話された。</p> <p>現在は、講師が長年の夢であった蕎麦屋を二人の障害のある人と運営し、二人に蕎麦打ちを指導している。希望が持てる取組やビジョンをお話していただいた。</p> <p>講演後は短い時間であったが質疑応答を行った。</p>
	結果	<p>企業の現場で起こる課題を具体的に知ることができた。また、それらを解決するために家族はどのような考えで、何をしなければならぬかを考えることができた。講師の話は単に障害者雇用にとどまらず、家族について、仕事をするということについて、生きることについて深く考えさせられた。</p>
	所感	<p>父親として、家庭のあり方、子育てについて考える貴重な機会となった。</p> <p>父親も、このような機会に積極的に参加して学ぶことは必要であると再認識した。</p> <p>育友会としても積極的に研修会の実施に取り組みたい。</p>

添付書類	担当作成報告書
------	---------

金沢大学附属特別支援学校 平成30年度父親部会研修会実施報告書

〈実施概要〉

実施日	平成30年12月22日(土)
会場	松ヶ枝福祉館
参加者	14名
講師	株式会社セイツー 取締役、そば処野良代表
内容	本校の学校評議員を務めていただいております、カット野菜の企業創業者で、現在は障害がある人と手打ちそばの店を運営している方に講師として招聘し、人を育てる上で大事にしなければならないことについて話していただきました。講師は、長年障害者雇用に取り組んでいて、家族のあり方や家庭の支援が仕事をしていく上で大切であると語られていた。障害についてだけでなく、生きていく上で大切なことを学べた講習会になった。

〈参加した父親の感想〉

今回のテーマは「就労後の保護者(父親)の役割について」でしたが、講師の奥村社長の説明は、親が教育・躰において心がけるべき取組、姿勢について肝要な示唆をいただいたと思います。

若い頃より苦労しながら勉学・仕事・子育てに奮闘し、成果物流通に携わる中で、障害者雇用と相互理解のある平等で合理的な職場の運営を確立していく講和をされ、躰やコミュニケーションがしっかりしてこそ就職してからの安定につながると説かれました。

大変参考になりました。